

# 正しい36交渉が終了!!

## 東京電車区分会は大田運輸区過半数代表者の 36協定締結の経過と決断を全面的に支持します!

4月29日、運車職場最後の大田運輸区で5月1日から一年間の36協定が締結されました。このタイミングでの締結となったのは、真剣に超勤削減と、36協定違反を起こさせないために真摯に議論をした結果だからです!

これに対し、4月30日付けの会社掲示では「いたずらに過半数代表者が協議に必要なことをしようと、締結に時間がかかった」と記しています。

労使対等の原則に基づき、協議の中身を充実させるために、使用者側と同人数の協議を求めたことに対し、会社は「法的にも、会社の規則的にも問題ない」と回答しながらも、協議に入らず無駄な時間をかけ、議論を引き伸ばしました。

大田運輸過半数代表者は、列車運行の確保(輸送混乱時や異常時でも列車が運行される体制)や社員の生活設計(年休や休暇)、勤務発表が迫っていることを踏まえ、24日の時点で判断をして一人で交渉に応じ、36協定の締結を要請しています。

過半数代表者は、20回以上「締結しましょう!」と言っているにも関わらず、支社長代理が途中休憩を挟むたびに議論したことが覆され、また「全ての事業場で同じ理由で締結しているため、変えることは出来ない」と答え、「文言は会社が考えてください」と伝えたにもかかわらず、締結には至りませんでした。

### 大田運輸区過半数代表者は正しい協議を行っています!

真剣に、真摯に議論しようとしていたことを、問題視していることこそが問題であり、決して許されることではありません!!

また、一職場の36交渉に時間がかかったことを、会社の公的な情報で発すること自体が違和感だらけであり、労務対策以外の何物でもありません。

東京電車区過半数代表者は締結に至る議論内容の丁寧な説明は行わないのですか?  
私たちは詳しい内容を知りたいのです!!